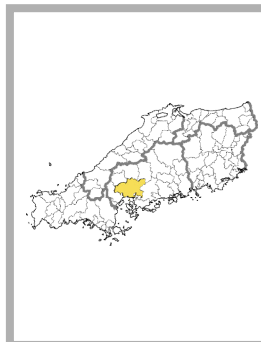


広島市(広島県):やぐちおもいやりタクシー

住民参加・復路運賃の商業施設負担と、ノウハウの展開

人口	1,154,391 人	モード	乗合タクシー
面積	905.10 km ²	法令	道路運送法 (旧)第21条
人口 密度	1275.43 人/km ²	運営 主体	やぐちタクシー



■ 取組の背景

地域と交通の状況

- 急な坂道が多く、住民の高齢化が進み、道路幅員が狭く路線バスの乗り入れもない地域で、生活交通の確保が課題であった。地元のふじランド・上矢口両町町内会の発意とやぐちタクシーの協力により、平成15年8月から「やぐちおもいやりタクシー」という地域主導型の乗合タクシーの運行が開始。
- 地元町内会の要請に基づき、公的な補助金に頼ることなく、地元タクシー事業者により自主的に運行されていたが、利用者数が採算ベースを大幅に下回り、継続運行が危ぶまれていた。

【交通不便地域の存在】【少子高齢化】

活用メニュー(制度・協議会等)

- 平成16年6月、中国運輸局の協力の下、「やぐちおもいやりタクシー活性化検討委員会」が設置され、実証実験が実施された。

【公共交通活性化総合プログラム】

■ 実現したサービス

サービス内容

【ルート of 工夫】

【ダイヤ of 工夫】【運賃 of 工夫】

- 実証実験とその後のアンケート調査などを元に、現在の運行状況は以下の通りとしている。

運行事業者	やぐちタクシー
運行経路	ふじランド～上矢口地区～梅園団地 ～商業施設・医療機関～JR安芸矢口 駅～ふじランド(1周8km、所要時間30分)
停留所	14箇所(一部フリー乗降区間あり)
運行回数	15便/日(日祝は運休)
運賃	1回300円 (当日限り往復400円[復路100円]) ※やぐちおもいやりタクシーを利用し 協賛商業施設で2,000円以上の買物 をした人の復路運賃は商業施設が負担

- なお、実証実験は行ったが、効果が限定的であったため、採用されなかったサービスは以下のとおり。
 - 日曜・祝日の運行
 - 携帯電話を活用したデマンド型運行

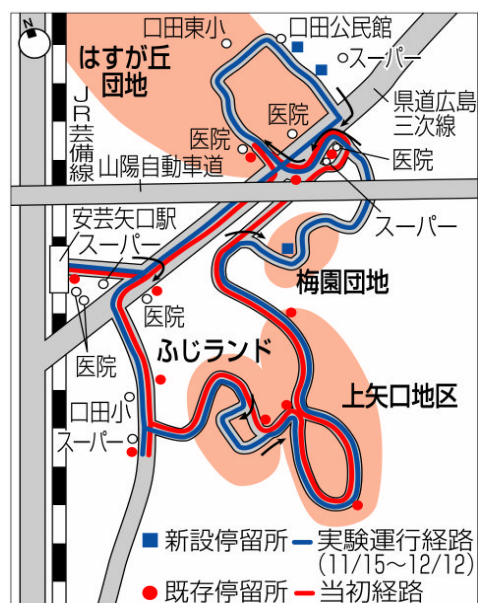


図. 運行ルート

出典：広島市資料

■ 効果と負担

効果

【利用者数の増加】

- ・ 運行当初の1日平均利用者数は15人程度だったが、平成17年7月には採算ラインである40人/日を超え、その後も採算ラインで推移している。

負担

【公的補助なし】

- ・ 現在市の負担はない。

■ プロセスと調整

体制構築

【プロセス:体制構築】

- ・ 公共交通活性化総合プログラムに合わせて、おもいやりタクシー活性化検討委員会を発足させた。メンバーは学識経験者・地域の代表・運行事業者・運輸局・市。

過大(希望)予測を避けた需要予測

【プロセス:現状把握】

- ・ 住民アンケートによってニーズを掘り起こした。既存のサービスがあったため、実際に利用の有無を聞き、利用していない場合の理由を聞くことで過大予測を避けることができた。

効果的な実証実験実施

【プロセス:事業実施】

- ・ アンケートなどをもとに、時間帯・コース・運賃制度などを見直した。
- ・ ダイヤについては専門家であるタクシー事業者の意見を反映した。
- ・ 運行の是非、ルート検討、アンケート実施などは住民が主体となって行い、市はアンケート分析の方法提示、停留所設置について住民から要望を受けた場合の当該場所における地権者との交渉などの役割を担った。

住民が主体となった取組

【調整:住民】

- ・ 利用者数が予想を大きく下回る状況で、継続が危ぶまれたことから、住民が危機感をもって、サービス検討・広報を行った。

■ 創意工夫・知見・教訓

住民参加

【知見:住民参加・主体性の発揮】

- ・ 地元が主体性をもつことが最も重要である。
- ・ 住民が主体となると地元の商業施設などの協力(割引券・協賛)も求めやすい。

行政内の協働

【知見:行政の取組】

- ・ 行政では、交通部門とまちづくり部門が協力することで、まちづくりまで含めた取組となる。

他事業への転換

【知見:ノウハウの展開】

- ・ やぐちおもいやりタクシーで培ったノウハウを活かして、その他の地区(山本地区乗合タクシー)でも同様な取組を、地域が主体で行っている。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：広島市道路交通局都市交通部交通対策担当 電話 082-245-2604

参考 URL：やぐちおもいやりタクシーについて

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/000000000000/1153716944654/index.html>

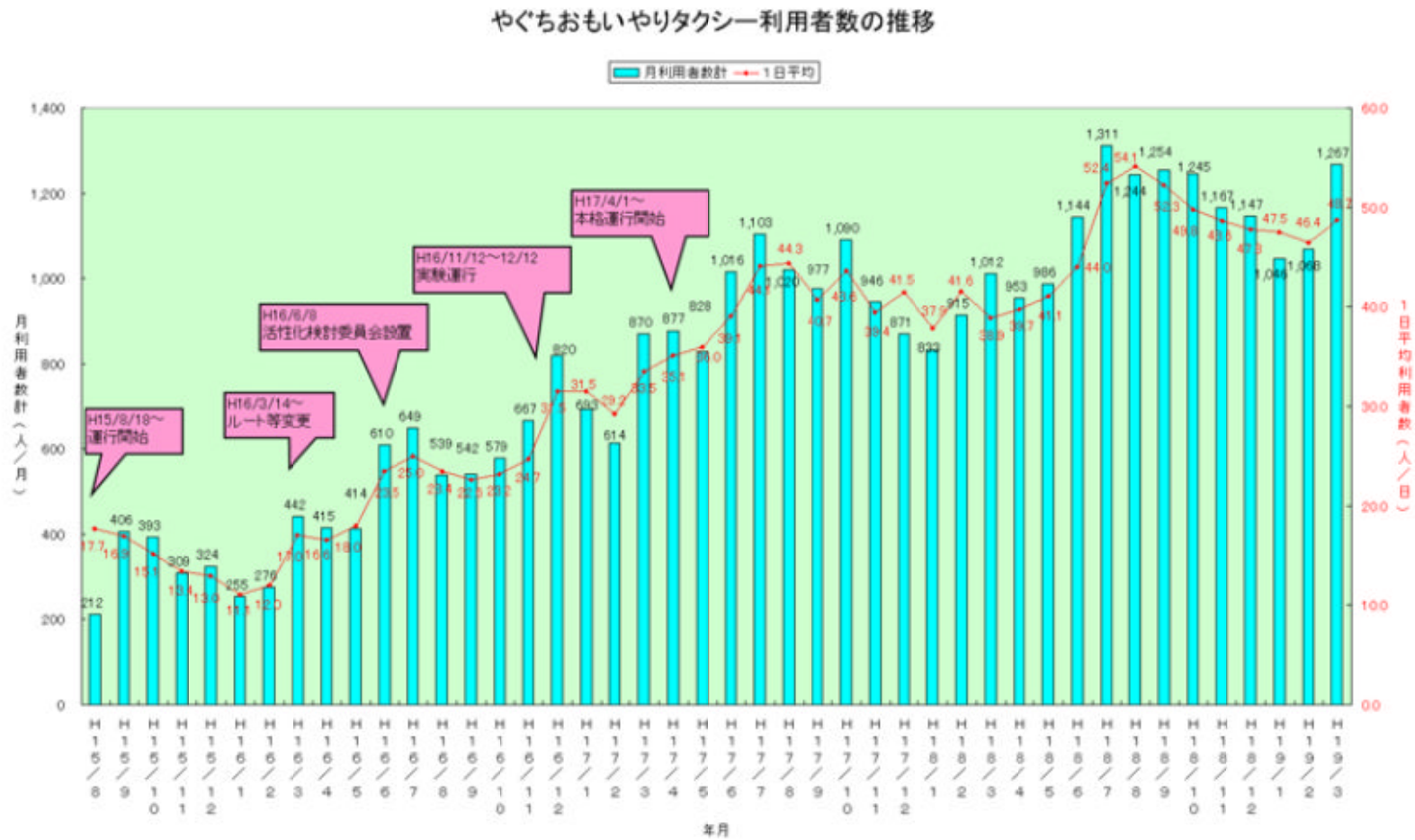


図. やぐちおもいやりタクシー利用者数の推移

出典：広島市資料

■ 資料編

表. 実験運行での新たな取組

運行経路	沿線団地への新規乗り入れ、運行経路延長(1周5キロメートル→8キロメートル)
ダイヤ	最終便の繰り下げ、土曜午後・日祝の運行(※日祝の運行は採用されず)
運行環境	携帯電話を活用したデマンド型運行の一部導入(※採用されず)
運賃	往復割引券の発行(当日限り復路100円) ※ 実験運行前は往復割引なし
商業施設との連携	やぐちおもいやりタクシーを利用し協賛商業施設で2千円以上の買物をした人の復路運賃(100円)を商業施設が負担
広報等	チラシの配布、車両への行灯の設置、マスコミ・広報紙によるPR

表. やぐちおもいやりタクシー活性化検討委員会名簿(役職等は平成16年度当時)

役 職 等
県立広島大学生活交通研究会事務局長 (島根県中山間地域研究センター客員研究員)
広島市道路交通局都市交通部交通対策担当課長
広島市安佐北区市民部区政振興課長
有限会社やぐちタクシー 常務取締役
口田学区町内連合会会長
上矢口老人クラブ会長
中国運輸局企画振興部企画課長
中国運輸局広島運輸支局総務企画課長 (事務局) 中国運輸局企画振興部企画課

出典：広島市資料